

活 動 記 録 書

開催日： 令和2年11月5日(木) 天候 晴	開催テーマ： 中世から鎌倉へ続く塩の道を歩く
開催場所： 金沢区	記入者： 杉山 茂
参加人数：	
会 員 男 19名 女 9名 計 28名	
ビジター 男 2名 女 名 計 2名	
合 計	30名
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）：	
<p>コース： 金沢八景駅(集合)ー金龍禅院ー泥牛庵ー米倉陣屋跡ー上行寺東遺跡ー上行寺ー千葉氏の墓と嶺松寺跡ー伝小山若丸二児の墓ー千光寺跡ー六浦白梅公園(解散)</p> <p>探訪再開2回目晩秋・快晴の日、金沢八景駅出発16号線を渡り最初の訪問先金龍禅院に到着。先ず九覧亭に、急な坂を上り、展望台から工場・住宅立ち並ぶのを見ると往時野島・烏帽子岩・夏島が点在する絶景があったとは想像できない。坂を下り飛石を見て金龍禅院を後にする。</p> <p>泥牛庵は鎌倉末期の創建と伝えられる。米倉家が陣屋を築いたときこの地に移され現在に至っている。国道の拡幅により境内が狭くなってしまった。</p> <p>米倉陣屋跡は明治4(1871)年まで陣屋として存在したが現在は住宅地となり陣屋が存在した形跡は見当たらない。明治年代の米倉家当主の墓が片隅に存在する。米倉陣屋を築くため泥牛庵他2ヶ寺が移設または廃寺となっている。</p> <p>上行寺東遺跡は鎌倉時代の遺跡と確認されたがマンション建設のため遺跡は破壊され、現在はやぐらの一部と遺跡レプリカが残るのみである。この高台からの展望は現在住宅地であるが、鎌倉時代は六浦湊と塩場が見渡せたのであろう。塩場の地名は残されている。</p> <p>上行寺は船中間答など多くの逸話がある日蓮宗のお寺、境内には逸話にある樹齢700年と伝えられる榎の木、鎌倉との往来など使役に使われた動物に対しての牛馬六蓄の供養塔がある。</p> <p>千葉氏の墓と嶺松寺跡へ、坂道を上った擁壁のすぐ前にたくさんの墓石が現れた。なかで大きいのが千葉氏のものだという。嶺松寺は明治初年に廃寺となり、墓石も荒れたままであったが擁壁工事に伴い並べ替えられたものである。千葉氏は明治維新まで瀬戸神社の神主であり、嶺松寺は千葉氏の娘が建立した記録がある。</p> <p>伝小山若丸二児の墓は急な坂道を上り擁壁上のそばにあり、乳母の墓と伝えられるものと三基並べられている、元あったところは傾斜地崩壊工事により削られ現在地に移された。</p> <p>千光寺跡は千光寺が朝比奈へ移転に伴いできた跡である。小栗判官・照手姫伝説の照手姫の守り本尊と伝えられている十一面千手観音が本尊である。境内には「金澤猫」にちなむ猫塚がある。</p> <p>侍従川の由来聞きながら最終目的地六浦白梅公園に到着解散した。</p> <p>本日は鎌倉時代塩の生産地付近の探訪であった。金沢の地で生産された塩を鎌倉への輸送路であると同時に多くの文物が行き交った塩の道、失われたものがあるにせよ多くの文化財が伝えられ残されている。塩の道が大きな役割を果たしたことを再認識できた。金沢の地形上仕方ないが途中急な坂・階段があり目的地に行けない人が出たのは残念であった。</p>	
参加者の状況・意見など：	
天候がよく事故もなく快適な探訪であった。さらに嬉しいお知らせビジター参加の平さんが入会された。	
<p>次回の予定： テーマ 「釜利谷史跡散策ーI 白山道を歩く」</p> <p>12月3日(木) 10時 金沢文庫駅西口集合</p>	